

# 日本一長いみやぎの運河群 連絡調整会議 開催報告

～貞山運河再生・復興ビジョンの取組～

令和5年2月24日

宮城県 土木部 河川課



## 目次



1. 貞山運河再生・復興ビジョンの推進体制について
2. 第1回みやぎの運河群利活用推進会議について
3. みやぎの運河群連絡調整会議の公募・推薦について
4. みやぎの運河群連絡調整会議の開催内容について
  - ・民間団体（R4.12.26資料の抜粋）
  - ・行政機関（R4.12.26資料の抜粋）
5. 今後について

# 1. 貞山運河再生・復興ビジョンの推進体制について



## 【4つの基本目標】

- ① 地域にとって誇りある歴史的な運河群としての再生
- ② 自然災害に対して粘り強く強靱な沿岸地域の構築
- ③ 自然環境と調和し共生できる、運河周辺環境の保全・再生の推進
- ④ 継続的な地域間の連携と、未来に向けて発展できる社会環境の構築

## 【期別の目標】

- 短期：被災した運河群および沿岸地域の一日も早い復旧，復興理念の共有化と参加
- 中期：運河群および沿岸地域における“集いの場”の再生と，広域的な連携の拡大
- 長期：運河群の歴史を未来へと繋ぐ，100年先を見据えたビジョンの発展

## 貞山運河再生・復興ビジョン 4つの基本目標の推進状況

- ① 歴史的な遺稿の保存を実施（釜閘門調査）【平成24年～】
- ② 粘り強い構造の堤防を整備（まちづくりと連携した堤防整備）【平成25年～令和3年】
- ③ 自然環境と調和した施設の復旧を実施（松林の保全、覆土・緑化・桜植樹など）【平成24年～】
- ④ 民間団体等による運河を活用した様々な取組が推進  
（集客施設整備，イベント開催，舟運など水面利用，歴史の継承など）  
【継続した取組】

復旧・復興事業などの短期～中期の目標は概ね達成  
中期～長期の目標に向け，さらなる取組を推進

3

# 1. 貞山運河再生・復興ビジョンの推進体制について



## 今後の推進体制 ～官主体から地域主体へ～

（貞山運河再生・復興ビジョンP22抜粋）  
ビジョンで掲げる中長期的な視点による取組の多くは，県の支援・連携により，沿川市町や地域住民，民間資本等を主体とすべきものになっています。すなわち，初めは県の呼びかけにより構築される推進体制が，ビジョンの取組の進捗とともに沿川市町や民間を主体とする体制へと変化し，県の支援や連携自発的かつ継続的な推進体制へと発展していくことが重要です。このため，災害復旧事業や復興事業の進捗や完了，その時々々の社会状況に応じて変化できる推進体制としていきます。

みやぎの運河群の沿川では，各地域の様々な主体において，賑わいの創出，歴史の伝承，自然環境保全等の活動が実施されています。  
今後は，「日本一長いみやぎの運河群」を活用し，様々な主体が，各地域特性を考慮しながら，広域的な連携を図ることによって，さらなる取組の拡大が期待されます。

復旧・復興事業の完了に伴い，官主体の「貞山運河再生復興会議」から発展し  
地域主体の継続的な推進体制への橋渡し

みやぎの運河群利活用推進会議の設立

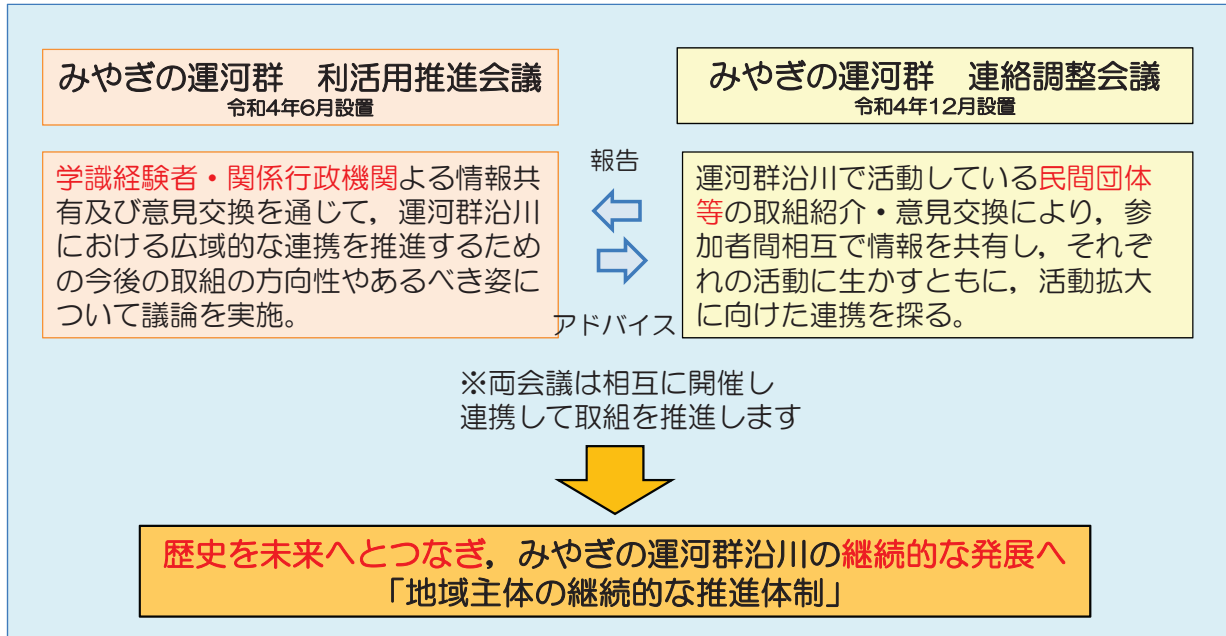
歴史を未来へとつなぎ，みやぎの運河群沿川の継続的な発展へ

4

# 1. 貞山運河再生・復興ビジョンの推進体制について



「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づき、これまでは、復旧・復興事業推進のため、官主体の「貞山運河再生・復興会議」において推進していましたが、復旧・復興事業が完了したこれからは、さらなる地域の発展に向け、**地域主体の継続的な推進体制への橋渡しが必要であることから、新たな推進体制を構築します。**



5

# 2. 第1回みやぎの運河群利活用推進会議（令和4年6月20日）について



## ◇学識者からの主なご意見

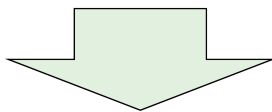
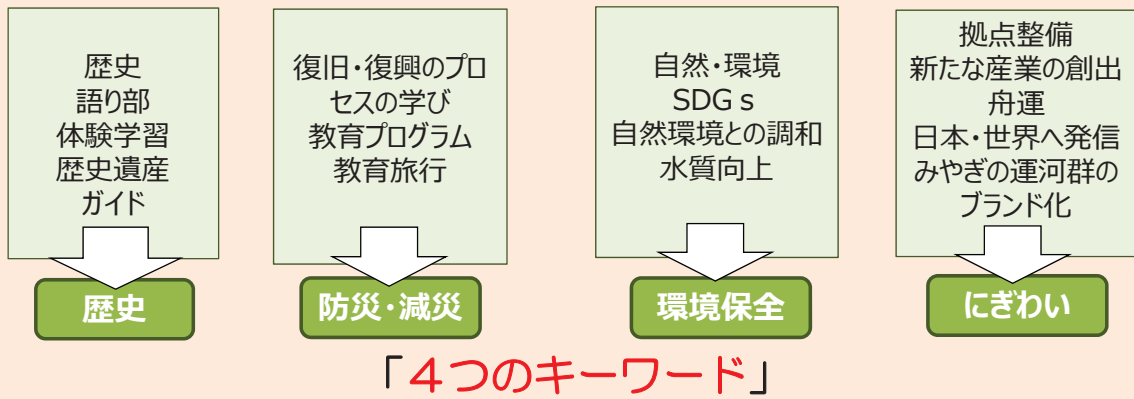
- 運河は「舟運」を目的に作られているが、今後は「観光」の視点での取組が主体となる。
- トイレや休憩所などの施設の整備も必要と考える。
- 小学生の体験学習などの取組を実施することが良い。
- 安心して安全な取組を実施するためにも、「水質」が悪いと感じる点は課題と感じる。
- みやぎの運河群の利活用に当たって、教育プログラムに取組を盛り込んだらどうか。
- 震災から復旧・復興、そして現在。このプロセスの中にも「学び」はたくさん詰まっていると感じている。
- 自然、歴史や観光など「SDGs」に当てはまるかを考えていくべきと思う。
- 観光だけではなく、新たな産業の創出も重要ではないかと感じている。  
元々（昔）はしじみが取れており、養殖に目を向けるのもひとつの手段と思う。
- 時代や背景がそれぞれの違いがあり、それぞれの地域で活動される団体の思いも異なるはずである。それらを反映した「みやぎの運河」というブランドを今後一緒に育てていくべきではないかと思う。
- 歴史や自然環境、復興事業のこれまでなどを地元が自らできるような、語り部・ガイド・教育旅行などの教育の場として発展する可能性もあると感じた。
- 復旧・復興事業の取組みでは、見事に自然環境との調和が図られたと感じている。今後は残された自然をどのように活かすことができるのかを考えていくべきと感じている。
- 縦割りではないプラットフォームをできれば、日本・世界に発展できるのではないかと思う。

6

## 2. 第1回みやぎの運河群利活用推進会議（令和4年6月20日）について



### 第1回みやぎの運河群利活用推進会議の主なご意見を分類化



キーワードから  
連絡調整会議に参加する民間団体等の応募要件を定めた。

### 応募の要件

- 1、運河群の歴史を未来に繋ぐ活動
  - 2、防災・減災に向けた活動
  - 3、環境保全等の活動
  - 4、運河を活用した地域活動
- ※みやぎの運河群連絡調整会議 実施要領 第3条

## 3. みやぎの運河群連絡調整会議の参加団体の公募・推薦



### みやぎの運河群連絡調整会議設置要綱 第2条

「みやぎの運河群連絡調整会議」は、市町、国、県などの行政機関と運河群沿川で活動している民間団体等の取組紹介などにより、参加者相互で「情報共有や意見交換を行い、それぞれの取組への活用や連携強化を図る」

### 公募の概要 みやぎの運河群連絡調整会議 実施要領 第3条

#### ・応募期間

#### 通年公募

（なお、第1回目の公募は、10月24日から11月18日までの期間に応募があった団体）

#### ・応募資格

会則、規約を持った、平成24年4月以降にみやぎの運河群沿川（北上運河、東名運河、御舟入堀、新堀、木曳堀）での活動実績がある民間団体等であること。

- 1、運河群の歴史を未来に繋ぐ活動
- 2、防災・減災に向けた活動
- 3、環境保全等の活動
- 4、運河を活用した地域活動

### 市町からの推薦方法（みやぎの運河群連絡調整会議 実施要領 第5条）

会議の構成機関である市町は、開催に参加する民間団体等の推薦について、随時様式1より推薦することができる。

宮城県河川課HP:[みやぎの運河群連絡調整会議に参加を希望する民間団体の公募を行っています。](#) - 宮城県公式ウェブサイト ([pref.miyagi.jp](http://pref.miyagi.jp))



### 3. みやぎの運河群連絡調整会議の参加団体の公募・推薦



#### 公募の概要 みやぎの運河群連絡調整会議 実施要領 第6条

原則、会議開催日の2か月前までに公募及び推薦を受け付けた団体について、参加団体を選定する。

#### 公募の概要 みやぎの運河群連絡調整会議 実施要領 第7条

会議からの脱退を希望する民間団体等は、事務局へ取り下げ願いもしくは文書により脱退の意思を示すことによって会議を脱退することができる。

#### みやぎの運河群連絡調整会議の実施イメージ

【会議内容】 運河群沿川で活動している民間団体等の取組紹介・意見交換により、**参加者間相互で情報を共有**

#### 【期待される効果】

- ・他団体や行政機関の取組を知り、それぞれの取組に活用。 **（知る）**
- ・同地域、地域間、類似の取組、行政機関とおし、民間団体とおし、行政機関と民間団体など、  
様々な組み合わせ（マッチング）の連携による活動拡大。 **（連携）**
- ・みやぎの運河群全体での連携。
- ・行政機関は、可能な支援策について検討。

**まずは、各団体ができること（興味のあること）から始めていきます。**

9

### 4. 第1回みやぎの運河群連絡調整会議の開催報告



#### 開催概要 令和4年12月26日（月）

#### 議事

- （1）取組紹介について
  - ①行政機関 ②民間団体等（全参加団体）
- （2）意見交換

#### 参加した民間団体

（全8団体：公募・推薦による）

- ① NPO法人ひたかみ水の里
- ② すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会
- ③ 貞山・北上・東名運河研究会
- ④ 貞山運河「御舟入堀」プロジェクト
- ⑤ 仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会
- ⑥ 貞山運河倶楽部
- ⑦ 一般社団法人 貞山運河ネット
- ⑧ 新貞山ローイングクラブ（推薦）

（第1回目の公募は、10月24日から11月18日まで公募）



10

## 民間団体の取組紹介 NPO法人ひたかみ水の里



### 参加団体紹介

■団体名

NPO法人ひたかみ水の里 (代表：新井 高広様)

■設立

1999年7月15日

■活動内容(抜粋)

- 平成24年～  
令和4年6月～10月 北北上運河 カヌー体験(親子、小中学生を対象)
- 平成24年～  
令和4年6月～10月 北北上運河 除草清掃作業



#### 親子体験



#### 小中学校の総合学習支援



11

## 民間団体の取組紹介 すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会



### 参加団体紹介

■団体名

すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会 (代表：藤井 勝様)

■設立(発足)

2014年

■活動内容(抜粋)

- 雑木雑草の除去、清掃、設備修繕や設置(ベンチの設備修繕)
- 広報活動(自然環境視察、環境保護活動PRのぼり旗制作、貞山小学校での講話)

▶ベンチ等の設備修繕

▶石巻市への陳情活動により、  
遊歩道に四阿・トイレを設置

宮城県産木材を利用。  
個人寄贈のテーブルとイスを設置。  
市民の休憩と交流の場となることを期待。



2021年5月30日河北新報ONLINEより



2021年9月2日河北新報ONLINEより

12



# 民間団体の取組紹介 貞山・北上・東名運河研究会



## 参加団体紹介

### ■団体名

貞山・北上・東名運河研究会 （代表：後藤 光亀様）

### ■設立

2013年

### ■活動内容（抜粋）

- ・水質調査、寒風沢の現地調査、土木遺産調査、野蒜築港サンセット・ムーンライズクルージング、野蒜築港開港140年記念フォーラムの開催

- 南東北の土木遺産を訪ねて
  - ・野蒜築港サンセットクルージング
  - ・南東北ローカル線の旅企画
  - ・大回り乗車の実践



南東北土木学会「遊奨土木遺産」群



# 民間団体の取組紹介 貞山運河「御舟入堀」プロジェクト



## 参加団体紹介

### ■団体名

貞山運河「御舟入堀」プロジェクト （代表：武田 せつ子様）

### ■設立

2014年

### ■活動内容（抜粋）

- ・歴史教室、フットパス、清掃活動、今昔語り部隊、運河で乾杯！和舟で運河遊覧
- ・松島高等学校観光科とのコラボ活動（御舟入堀の手作りマップ、行事の参加）

<p><b>歴史を学び</b> <small>歴史教室</small></p> <p>ふるさとの素晴らしい土木遺産を知り、郷土愛を醸成。</p>	<p><b>歴史を感じ</b> <small>フットパス</small></p> <p>御舟入堀フットパス（散策路）コースを作成。</p>	<p><b>歴史を繋ぐ</b> <small>今昔物語り隊</small></p> <p>御舟入堀の歴史を掘り起こし、未来へ語り継いでいきます。</p>
<p><b>運河と親しみ</b> <small>運河で乾杯！</small></p> <p>運河のほとりに集い、運河の利活用を考えるイベントを開催。</p>	<p><b>運河を美しく</b> <small>清掃活動</small></p> <p>人々が心地よく利用できるよう、定期的に運河沿いの清掃活動を実施。</p>	<p><b>運河を楽しむ</b> <small>和舟で運河遊覧</small></p> <p>水面から見る運河の景色を楽しむ舟遊びを実施。</p>

# 民間団体の取組紹介 仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会



## 参加団体紹介

■ 団体名  
仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会 （代表：佐藤 政信様）

■ 設立  
2022年

- 活動内容（抜粋）
- ・ 設立総会記念講演会「野蒜築港事業中止の北上・東名運河の利用状況」
  - ・ 寒風沢研修会：講演会「近世～近代の太平洋航路と寒風沢・石巻港」  
寒風沢島探訪会

**第2部：寒風沢島探訪会（12:45～17:30） 概要**



※マリーンゲート塩蔵[13:00発]～寒風沢島[13:46着]  
A班コース(B班は逆コース) 各班15名(案内者スタッフ含み)【案内】NPO法人「NPOみなしほがま」  
寒風沢棧橋[14:00]～(400m)～開成丸造船の碑、御城米御蔵跡・御石改番所跡～(200m)  
～日和山(しばり地蔵・十二支方角石)～(500m)～砲台跡～(400m)～寒風沢神明社[15:00]  
～(浦戸米水田)～(1200m)～穴地蔵～(400m)～松林寺(化粧地蔵・延命地蔵)～(500m)  
～寒風沢島棧橋[16:20]【計】約4km ※寒風沢島[18:38発]～マリーンゲート塩蔵[17:24着](解散)



15

# 民間団体の取組紹介 貞山運河倶楽部



## 参加団体紹介

■ 団体名  
貞山運河倶楽部 （代表：上原 啓五様）

■ 設立  
2019年

- 活動内容（抜粋）
- ・ 貞山運河フォーラムー貞山運河の舟運について考えますー
  - ・ 「新浜 貞山運河 小屋めぐり」



**市バスに乗って 新浜 貞山運河 小屋めぐり** 今年最後!

2022 11/19 (土) 参加費100円(小学生以下無料)

スタンプラリー選べる3コース

9:10 地下鉄荒井駅バス乗り場に案内がいます  
9:40 新浜みんなの家で受付開始  
12:50 全コーススタンプラリー終了

時間内自由 ①自由にスタンプラリーコース

②アーティストとめぐりコース

③小学生向け ゆかいな散歩コース

【市バス案内】 新浜駅西側駅前バス停「開通・東洋行」に集合

行A 新浜駅 9:10発 - 新浜 9:31着  
行B 新浜 13:11発 - 新浜 13:29着  
開通 19:11発 - 新浜 19:29着

【みんなの家】 新浜みんなの家 (仙台市宮城野区岡田字浜通 54-1)  
TEL: 099-4630414(4線) (直通)




16



# 民間団体の取組紹介 一般社団法人 貞山運河ネット



## 参加団体紹介

■団体名  
一般社団法人 貞山運河ネット (代表：櫻井 広行様)

■設立  
2022年

- 活動内容 (抜粋)
- ・貞山運河の冊子の作成・配布 (名取市内小中学校)
  - ・貞山運河サミット (運河沿線の各観光 (物産) 協会の方参加)
  - ・新浜の調査・確認 (藻の調査確認等)



# 民間団体の取組紹介 新貞山ローイングクラブ



## 参加団体紹介

■団体名  
新貞山ローイングクラブ  
(代表：増子 毅様)

■設立  
1970年代

- 活動内容 (抜粋)
- ・乗艇
  - ・2022年度水辺絆プロジェクト
  - ・クリーン岩沼 (清掃活動) への参加



### 1. 活動地域



### 2. 現在に至る活動記録 (前史)

1970~80年代に、東北大学漕艇部の支援のもと、岩沼市の市民クルー「貞山クラブ」が活動し、1980年には女子ナショナルフォアが団体出場を果たす。

### (2021年)

2月に東北大学漕艇部の新堰庫が完成し、貞山クラブの復活が話題になる。

# 行政機関の取組紹介



## 宮城県土木部河川課

これまでのあゆみ

年度	復旧・復興事業	貞山運河再生・復興ビジョン関係	桜植樹等の取組
平成23年3月11日 東日本大震災により、みやぎの運河群沿川では壊滅的な被害が発生			
平成24年度	重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会	貞山運河再生・復興ビジョンの検討座談会（第1回）	桜植樹の取組を開始 桜植樹 仙南浄化センター
平成25年度	環境アドバイザー制度設立	貞山運河再生・復興ビジョンの検討座談会（第2回）	桜植樹会in岩沼海浜緑地
		貞山運河再生・復興ビジョンの策定 貞山運河再生復興会議準備会（第1回）	
平成26年度	石井閘門の補修工事了	貞山運河再生復興会議準備会（第2回）	桜植樹会in多賀城緩衝緑地
		貞山運河再生復興会議（第1回）	
平成27年度		貞山運河再生復興会議（第2回）	桜植樹会in貞山公園 桜植樹 石井閘門
平成28年度	益閘門 遺構調査委員会	貞山運河再生復興会議（第3回）	桜植樹会in北上運河
	北上運河（北上運河）工事了		
平成29年度		貞山運河再生復興会議（第4回）	全国運河サミットみやぎ実行委員会設立
			桜植樹 明治遺跡公園
			桜植樹会in岩沼海浜緑地公園
平成30年度	北上運河（北北上運河）工事了		全国運河サミットinみやぎの開催
	御舟入堀（砂押貞山運河）工事了		
	新堀（七北田川水系南貞山運河）工事了		
	新堀（北貞山運河）工事了		
	木曳堀（五陸堀川）工事了		
令和元年度	北上運河（南北上運河）工事了		桜植樹 仙台多賀城地区緩衝緑地
	東名運河（東名運河）工事了		
	木曳堀（中貞山運河）工事了		
令和2年度	宮城県河川海岸環境配慮指針		桜植樹 仙台市荒浜地区
	木曳堀（名取川水系南貞山運河）工事了		
令和3年度	環境配慮記録誌発行	貞山運河再生復興会議（第5回）	桜植樹 仙台市荒浜地区
	日本一長いみやぎの運河群 東日本大震災からの復旧・復興の歩み（記録誌発行）		桜植樹 大曲閘門
令和4年度	御舟入堀（旧砂押川）工事了（予定）	みやぎの運河群利活用推進会議 設立 みやぎの運河群連絡調整会議 設立	桜植樹会in東松島市大曲地区（予定）

全国運河サミット



スタディツアーの様子



# 各構成機関の取組紹介



## 環境省東北地方環境事務所

### みちのく潮風トレイルの概要



＜グリーン復興プロジェクト＞  
三陸復興国立公園の  
創設を核とした  
グリーン復興

～森・里・川・海が育む自然とともに歩む復興～

みちのく潮風トレイル  
Michinoku Coastal Trail

「みちのく潮風トレイル」は、青森県八戸市蕪島から、福島県相馬市松川浦まで（4県28市町村）の沿岸約1000kmをつなぐロングトレイル（長距離歩道）です。道は、新たな整備でつくるのではなく、地域にある里道や生活道など既存の道を「みちのく潮風トレイル」として1本の道でつないで、地域の自然環境や、暮らし、震災の痕跡、利用者と地域の人々を「結ぶ道」となることを目指しています。

平成31年4月に、ハイカーの拠点となる「名取トレイルセンター」がオープン。みちのく潮風トレイルの全線の統括本部として、路線管理、情報発信等を実施。

令和元年6月9日をもって全区間が開通し、**全長1,025kmのみちのく潮風トレイルの全線の設定が完了**。令和3年10月に全線の標識整備が完了予定

### ＜基本方針＞

1. 自然の恵みを活用する
2. 自然の脅威を学ぶ
3. 森・里・川・海のつながりを強める



# 各構成機関の取組紹介



環境省東北地方環境事務所

## トレイルと貞山運河(仙台市)



21

# 行政機関の取組紹介



多賀城市企画経営市民文化創造課

### (1) 地域住民参加型のアート・ワークショップ運営業務

【風をとらえる布を染めるワークショップ】

- ① 8月11日【土】10:00~12:00 市川地区集会所(刈安/黄色)
- ② 8月11日【土】14:00~16:00 市川地区集会所(西/赤色)
- ③ 8月12日【日】9:00~11:00 大代地区公民館(刈安/黄色)
- ④ 8月12日【日】10:00~12:00 市川地区集会所(矢野/純色)
- ⑤ 8月13日【月】9:00~11:00 市営鶴ヶ谷住宅(刈安/黄色)

【提灯絵付けワークショップ】

- ① 8月12日【日】10:00~16:00 大代地区公民館
- ② 8月12日【日】13:00~16:00 市川地区集会所
- ③ 8月13【月】10:00~16:00 市営鶴ヶ谷住宅
- ④ 8月14【火】10:00~16:00 大代地区公民館

【ドキュメンタリー映画「紫」上映会】



中峰橋壁面前



中峰橋壁面前

### (2) 「多賀城廃寺跡」のアート・インスタレーション運営業務

- ① 東北歴史博物館池への灯設置 8月14日【火】8:00~16:00
- ② 多賀城廃寺跡・敷設路への設置作業 8月15日【水】10:00~17:00
- ③ 多賀城廃寺跡アートインスタレーション開催 8月15日【水】19:00~21:00
- ④ 撤収作業 8月15日【水】21:00~22:30

### (3) 多賀城政府跡アート・インスタレーション運営業務

- ① 設置作業 8月16日【木】13:00~16:00
- ② 8月17日【金】~20【月】終日(ライトアップは19:00~21:00)



中峰橋壁面前



中峰橋壁面前

### (4) 貞山運河(御舟入掘)アート・インスタレーション運営業務

- ① 設置 8月17日【金】~20【月】16:30~18:30
- ② 8月17日【金】~20【月】19:00~21:00

### (5) プロモーション業務

- ① ポスター制作 B2サイズ 200枚
- ② チラシ制作 A4サイズ画面 2,000枚
- ③ ポスター・チラシの配布
- ④ Facebookにより発信
- ⑤ ケーブルテレビ撮影

22



# 行政機関の取組紹介



## 仙台市建設局百年の杜推進部公園整備課

### 1 防災集団移転跡地の活用

**災害危険区域**  
住宅の新築や増築を禁止している区域  
▶事業系用途での利用は可能

**移転促進区域**  
災害危険区域のうち、住居の集団的移転を促進する区域  
▶仙台市で土地を貸出し、跡地の利用を検討

### 3 かまちづくり制度の活用

**かまちづくり** 河川空間とまち空間が融合した良質な空間形成のため、河川管理者と推進主体である市町村が連携してソフト施策・ハード施策を行う

ソフト施策：オープンカフェの運営、自然観察ツアーの実施、舟遊 など  
ハード施策：観水護岸、スロープ、管理用通路の整備、高さ形の整正 など

**緑保地区にざわいづくり検討会**  
民間事業者・学習経験者・地元住民・国や市町村より意見を聴取し、緑保地区に求められる機能をまとめる

4/25	7/15	9/8	11/15
第1回	第2回	第3回	第4回

海岸公園（緑保地区）修正基本計画      緑保地区かまちづくり計画

**公園と河川の一体的な整備により、にぎわいの創出を推進します**

### 2 海岸公園復興基本計画

海岸公園復興基本計画

緑保地区に求められる機能をまとめる

- 自然観察ゾーン
- 水辺交流ゾーン
- 自然ふれあいゾーン
- にぎわいゾーン
- 展望（遊覧）ゾーン
- よすがゾーン
- 自然継承ゾーン

# 行政機関の取組紹介



## 仙台市建設局百年の杜推進部公園整備課

### 4 にぎわいづくり検討会での意見を反映したゾーニング図

**水辺交流ゾーン**  
舟遊・エコツアー・サイクリングの拠点施設、観水護岸、オープンカフェ

**自然観察ゾーン**  
フットパス（緑の散歩道）

**自然継承ゾーン**  
海岸防災林の拡充、湿地環境の再現、マウンテンバイクコース

**にぎわいゾーン**  
全天候型遊び場、デイキャンプ場、アクアアイグニスまでの移動手段、噴水施設、芝生広場

**展望（遊覧）ゾーン**

**よすがゾーン**  
緑守の杜、緑福、神社等の解説板、市道形状の保存

**自然ふれあいゾーン**  
植物解説板の設置、緑福、五感で楽しめる植栽、花壇

**自然ふれあいゾーン**  
植物解説板の設置、緑福、五感で楽しめる植栽、花壇

**自然観察ゾーン**  
フットパス（緑の散歩道）

**自然継承ゾーン**  
海岸防災林の拡充、湿地環境の再現、マウンテンバイクコース

**にぎわいゾーン**  
全天候型遊び場、デイキャンプ場、アクアアイグニスまでの移動手段、噴水施設、芝生広場

**展望（遊覧）ゾーン**

**よすがゾーン**  
緑守の杜、緑福、神社等の解説板、市道形状の保存

**自然ふれあいゾーン**  
植物解説板の設置、緑福、五感で楽しめる植栽、花壇

**自然ふれあいゾーン**  
植物解説板の設置、緑福、五感で楽しめる植栽、花壇



# 行政機関の取組紹介



## 名取市生活経済部

令和4年度 名取市舟運事業について

名取市商工観光課 2022.12.26

### 事業概要

名取川や貞山運河、広浦等の名取市が有する豊かな水資源を活用し、被災沿岸部の集客施設を水運により結び付け、復旧復興が進められる沿岸部の交流拠点を面的に広げることで、地域交流及び地域経済の活性化や観光事業の促進を図るため実施するもの。

### 実施内容

平成29年度：運行事業者として有限会社マリンメカニックを選定。地方創生推進交付金を活用し、船舶取得費等を補助。補助額4,000万円。  
 平成30年度～令和2年度：平成30年度運航を開始。PR事業経費を補助。  
 令和3年度：新たな船舶「ゆりあげ丸」の整備を実施。「ゆりあげ船まつり」を開催。  
 令和4年度：5月7日からゆりあげ丸による新規航路の就航を開始。

### 現状と課題

コロナの影響を受けながらも、着実に認知度を高めてきた。今年から運航を開始したゆりあげ丸も、かわまちてらす開上の新たなコンテンツとして、魅力向上に寄与している。一方、コース変更が難しいため、単なる乗船体験、に留まることない多様な活用方法を検討し、新たな付加価値創出により、さらなる誘客に繋げていく必要がある。

### 運航実績

第八喜多丸	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	ゆりあげ丸	R4年
運航日数	7	32 ※	22	21	19	運航日数	64
利用者数(人)	218	1,382	906	1,181	886	利用者数(人)	1,294
利用者平均(人/日)	31.1人	43.2人	41.2人	56.2人	46.6人	利用者平均(人/日)	20.2人

※R1年は土曜も運航。

# 行政機関の取組紹介



## 名取市生活経済部

令和4年度 名取市舟運事業について

名取市商工観光課 2022.12.26

### 運航ルート・スケジュール等

コース	①貞山運河コース	②名取川遊覧コース	③第八喜多丸
運行曜日	日、祝日	土曜、日曜、祝日	日曜、祝日
運行時間	かわまちてらす発着 10時30分発 ⇒12時00分着 ※朝市に30分滞在 ※潮位に応じて運休 の場合有り	かわまちてらす発 10時から16時まで随 時運航 ※潮位に応じて運航時 間は変更有り	ゆりあげ港朝市発着 1日6便 8時～12時まで随時運 航
乗船料金	大人700円 小学生以下500円	一律500円	大人700円 小学生500円
定員		10名	20名
運航期間	5月8日(日)～10月末	5月7日(土)～10月末	7月3日(日)～10月末



### 震災伝承みやぎコンソーシアムの概要と会員の募集について

#### 1 概要

震災の記憶や教訓を広く後世に伝え継ぐために、多様な主体である会員同士がゆるやかに連携し、一丸となった震災伝承の取組を目指して、令和4年9月9日に設立した。※事務局は県とし、代表等の役員は置かない。



9月のコンソーシアム設立会議の様子

#### 2 会員

- (1) 伝承団体等 26団体 (2) 学術機関等 2団体 (3) 報道機関 9団体
- (4) 企業等 11団体 (5) 行政機関 19団体
- 計 68団体(R4.12.19時点)

#### ※会員については随時募集！！

※会員の皆様には、日頃の活動の中で可能な範囲において、伝承の基本方針に沿って取り組んでいただく。  
(主に以下ア〜ウの内容 ※県「東日本大震災の記憶・教訓の伝承に関する基本方針」の3本柱)

- ア 震災の記憶・経験の蓄積と発信
- イ 伝承や防災・減災に関する人材の育成と防災教育の推進
- ウ 多様な主体の連携による伝承の推進



多様な主体と連携した震災伝承

#### 3 今後の主な活動予定

##### ○会員間の情報共有

- (例) ・会員の情報について、事務局が仲介し、報道機関に情報提供する。
- ・伝承施設の活性化に向けて、事務局が仲介し、調整する。(ポスター・パネルの利用等)
- ・会員である大学等から他県の伝承の事例について、事務局が仲介し、会員間で情報共有する。
- ・会員企業の震災伝承に関する社会貢献活動や企業内研修の実施に向けて事務局が仲介し、他の会員とマッチングする。

○会員向けの研修や勉強会、取組事例の報告会の実施(1月・3月に開催する交流会で実施予定)

### みやぎでの教育旅行をオススメする理由

<p><b>1. 生きた教材</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ SDGs×探究学習</li> <li>◆ 多様な震災学習</li> </ul>	<p><b>2. 学校との連携</b></p> <p>県内の高校や大学との連携による同世代どうしの学びと交流 上級学校での学び</p>	<p><b>3. コーディネート</b></p> <p>学校ごとのニーズに沿ったプログラムのご提案やご紹介</p>
---	---	---

<p><b>被害と教訓 見る知る</b></p> <p>被災状況を直し災害の脅威を伝える建造物や教訓を伝える伝承施設が県内各所に整備されています。県全体で5棟ある学校校舎の震災遺構は、児童・生徒にとって災害が身近にあることを感じさせます。</p>	<p><b>こえを 聴く</b></p> <p>バス案内、まちあるきなど様々な形で震災を伝える活動が行われています。逆り部の声を聴き、命の奇さを考えること、震災を伝えることを受け継ぐことの大切さも感じてほしいと考えています。</p>
<p><b>防災を まなぶ</b></p> <p>ワークショップなど、東日本大震災の経験を元と考えられた学習プログラム、防災学習施設、防災講話等、災害に対する防災・減災意識を高める学習ができます。</p>	<p><b>復興から まなぶ</b></p> <p>被災事業者等から再建への取り組みを聞き経験や知見を学ぶ、被災地域をささえる活動に参加し復興にたずさるなど、復興にふれて学べるプログラム。生きる力を育むヒントがあります。</p>

**1. 生きた教材**  
**SDGs探究学習特化型プログラム**

51 事業者  
82 プログラム

**連携に取り組むあらゆる分野の 方々からのご協力で達成**

エネルギー 環境安全 なりわい 街づくり  
防災・減災 歴史・文化・伝統の保全・・・  
多岐にわたるキーワードから  
学びたいことを見つけてください

地域 学校 企業  
NPO 宮城県 団体

児童・生徒のみなさんの  
本気の学びにお応えします！





## みやぎ防災林はぐくみ育てる実践事業について

R4.12.26\_水産林政部  
森林整備課保安林班作成

### 1. 目的

海岸防災林を中心とした沿岸地域のにぎわいづくりのため、令和3年度から「グリーンコーストプロジェクト」と称して、YouTube動画の制作や、バスツアーなど様々な普及事業を実施。

### 2. 今年度の取組状況について

(1) TVCM, YouTube広告による広報

(2) バスツアー開催

- ① 一般向け…若い世代を取込み、将来にわたって海岸防災林内で活動を行ってもらうため、海岸防災林の育林ボランティアと、沿岸地域の魅力に触れてもらうもの。
- ② 企業向け…海岸防災林を企業等のCSR活動の場として提案し、新たに関わってもらう企業を発掘するため、CSR担当者を対象とした育林作業体験と海岸防災林の活用法について学ぶもの。

【バスツアー概要】

コース	東松島・七ヶ浜(11/19) (一般向け)	仙台(11/20) (一般向け)	亶理(11/22) (企業向け)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東松島市野蒜(育林作業)</li> <li>・KIBOTCHA(BBQ・施設案内)</li> <li>・おはじきアートよがさき(アート見学)</li> <li>・うみの駅七のや(買物)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台市荒浜(育林作業)</li> <li>・JRフルーツパーク 仙台あらはま(BBQ)</li> <li>・※小廻りスタンプラリー ウォーキング</li> <li>・アクアイグニス仙台(買物)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亶理町吉田浜(育林作業)</li> <li>・わたり温泉島の海(はらこ飯)</li> <li>・研修会 ※海岸防災林の活用法について</li> <li>・金蛇水神社(見学)</li> </ul>
参加料金	4,900円	4,900円	4,000円
参加人数	15名(大人11名, 子供4名)	22名(大人18名, 子供4名)	15名(6社)

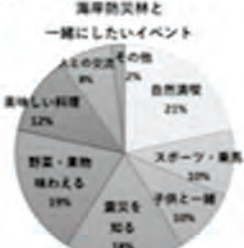


### ※小廻りスタンプラリーウォーキング

仙台市宮城野区岡田新浜地区において、貞山運河に沿って、アーティストや建築家が手がけた作品や、農家さんが手がけた小屋をめぐるもの。

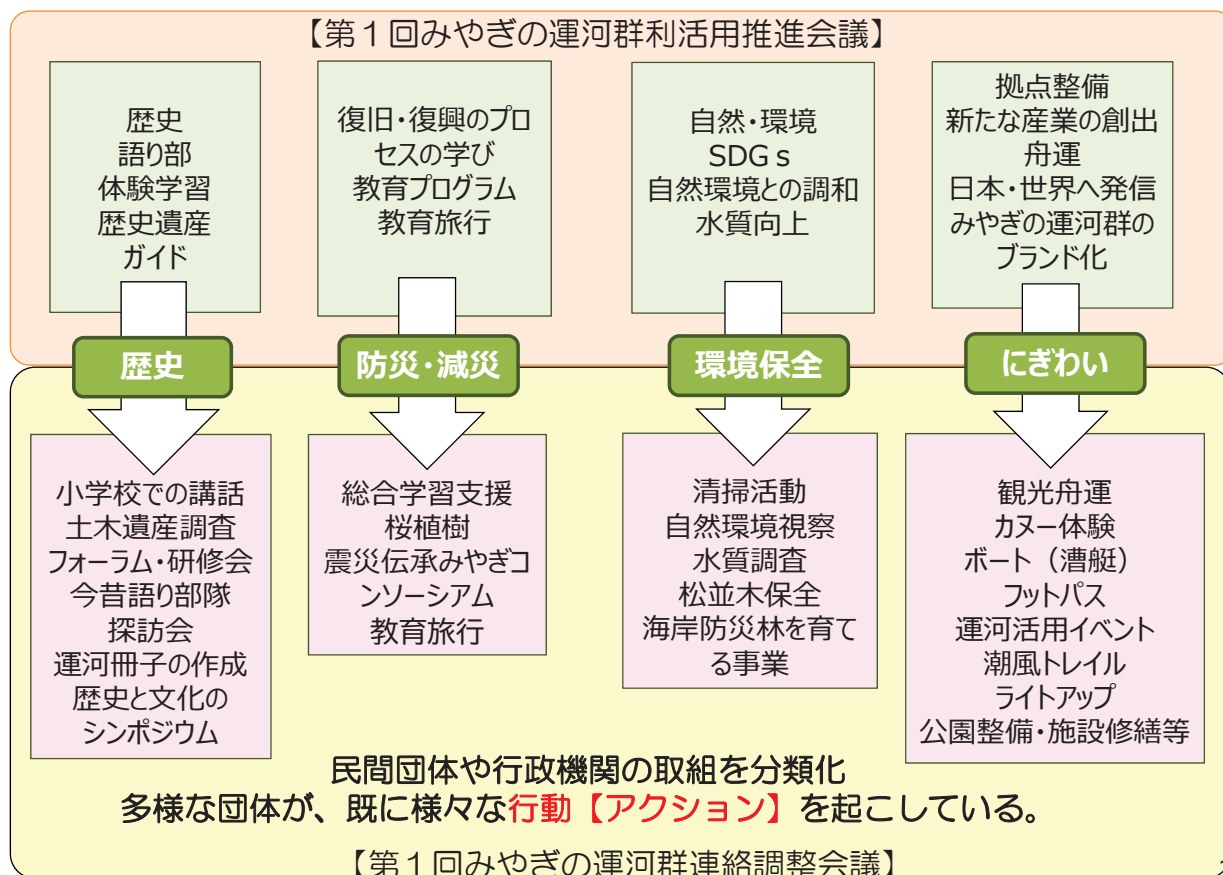


### バスツアーアンケート結果(仙台)



○新浜にこんなに素敵なコースがあると知らなかった。(30代:女性)  
 ○地元の知らないことを知ることが出来て良かった。(40代:男性)  
 ○アートに興味がある。今日のツアーで環境や復興とアートのコラボ的な要素が面白いと思った。(20代:男性)





## 民間団体の意見交換（主な意見）



### ◇民間団体が思うみやぎの運河の現状と在り方

- 運河の上下流地区（北上運河と貞山運河など）でそれぞれキャンプなどの具体的な施策を検討してはどうか。
- みやぎの運河群はすべて舟で通過（繋がる）できるとよいのではないか。
- 49kmの日本一長い運河があるのだから、舟運できるように検討もよいと思う。水門や埋め立てなどで運河群全部(49km)は繋がらないが行けるところだけでも検討するなど。
- 舟運やフットパスなどの活動を通じて、みなさんに興味を持っていただき、（地元でも知らない人が多いので）運河を認知してもらいたい。
- できるだけ可能な限りで、地域に関わりたいということを考えている。みなさんに水面に親しんでいただきたい。
- 北北上運河について農業排水の影響もあり水質が悪いことから、改善が必要。
- 官民や民同士など、定期的な会議の開催を事務局に仕掛けていただきたい。
- 会議が目的ではなく、具体的な成果となるものができるような活動をしていきたいと思っている。

## 5. 今後について



- ① 今後も、「みやぎの運河群連絡調整会議」をきっかけとし、官・民の取組を、「知る」ことで、新たな活動や取組が生まれることが期待できる。
- ② 「連携」  
 行政機関の取組と民間団体の取組で一緒に取り組めることはあるのではないか？  
 民間団体同士で、取組の拡大や新たな取組を発掘できるのではないか？  
 民×民、民×市町×県×国・・・（様々な組み合わせでマッチング）→活動の可能性が広がる  
 行政側での広報支援（地元の取組の発信）を考える。

まずは、各団体ができること（興味のあること）から始めていきます。

⇒みやぎの運河群沿川の継続的な発展へ

### ◆今後のスケジュール（案）

